

天溪 「夏のアルプス・オートルート 11日間」

第二部

シャモニからラックブラン小屋、プラフラーリ小屋、デイス小屋と泊まり、シェイロン氷河を横断し、リドゥマッテンのコルを越えてアローラへ入りました。これから3日間は毎日2800m程の峠を越えてツェルマットを目指します。簡単に言えば燕岳登山を毎日繰り返す様なもの。登山道脇きには疲れを癒すかのように辺り一面鮮やかな赤、黄色の夏花が咲き、強い夏の日差しを浴びながらハイキングを続けました。



(マイドパスに向け7/26日)

○トランのコル

エボレーヌをタクシーで出発。助かった事にビラ村上部の林道を標高2000m以上まで入ってくれました。これでコルまで残す所高度差900m。遠くにカーベルの音を聴きながら標高を上げて行くところでもエーデルワイスの群生を発見。一面に花・花・花状態のカーベルを登り詰めるとトランのコル。ダン・ブランシェ(4357m)の頂上は雲隠れでしたが振り返るとモンブランとグランコンパン(4314m)が遠方に鎮座し見えました。頂上で記念撮影後、バスの時間に急ぎ立てられながら人造のモイリー湖目指し一気に下山しました。



(トランノコル7/25日)



○マイドパス

ツィナールからバスとケーブルを使ってティノーザへ上がりハイキングをスタート。稜線のホテル・バイスホルン越しにマッターホルンを遠望しながら進み、途中で左折後マイドパス目指し一気に高度を稼ぎます。雪渓やお花畑を通り、カールを詰め切ると目前にバイスホルン(4506m)が出現。峠からグルーベンへ向け下る途中で質問有り“明日はどの峠を越えるんですか”正面に見える道をまっすぐ登って云々、皆の顔から笑顔が消失。それもそのはず今日で入山6日目、疲労もピークです。



(マイドパス 7/26 日)





○アウガストボードパス

今回最後の峠、アウガストボードパス。旅の最後を締めるように上り下り共に1000m、今回のコース中最高の高度差。ゆっくり、確実に、安全に峠を目指し高度を上げて行きます。感激のコルからはドーム（4545m）やバイスホルンの頂きが見えましたが何となく霞んで迫力ナシ。見えただけ益しとしてユング、セントニクラスへ向け下りました。



(オーグストボードパス 7/27 日)



○ツェルマツト

ツェルマツトは自由行動、希望者はヘルンリ小屋迄案内しますと話したものの明日は天気が悪いと村の人々。今迄が嘘のようにドンピシャリ、残念ながら朝から雨模様。簡単なハイキングをする人、街を散策する人など三々五々ツェルマツトを楽しまれた事と思います。

PS：スイスの中でもツィナールを過ぎた辺りでフランス語圏からドイツ語圏に変わります。この事とは直接関係有りませんが語学不足で地名、山名が正しい発音で記されていないものが有ります。ご了承願いま〜ス。

次回は8月末に始まる「ツールドモンブラン10日間」お届けいたします。

記 天溪 赤沼